

令和 4 年度事業報告書・決算書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 3 1 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会

令和4年度事業報告

I 事業概要

当協会は、国内外からの観光客の誘致促進、福島県産品の開発支援や販路の拡大及び観光・物産関係施設の管理運営を行うなど、観光・物産振興の総合的・一体的な展開を図り、もって本県の地域経済社会の活性化と多様な交流の拡大及び観光立国の推進に寄与することを目的に事業を実施している。

令和4年度は、県や市町村、関係団体と連携しながら公益法人として各種事業を積極的に展開し、県内観光と県産品の振興に努めた。

観光振興事業については、各種イベントや商談会への参加、訪問活動などに当たり、新型コロナウイルス感染症の状況等に応じてリアルとオンラインを使い分けながら、本県の強みである自然、温泉、歴史、そして日本酒を始めとする食、伝統工芸品などの魅力を活かし、県や各観光関係団体等と連携しながら誘客促進に努めた。

国内誘客の推進については、公式ホームページやSNSの運営、季刊観光情報誌の発行、各種イベントへの出展等による情報発信を行うとともに、専門家の派遣による地域の観光コンテンツのブラッシュアップ、マイクロツーリズムやワーケーションの推進、デジタルマーケティングの手法を取り入れたデータ分析やプロモーションの実施等、様々な観点から観光振興に取り組んだ。また、前年度から引き続き県民割プラスによる宿泊費の助成及びクーポンの配付を令和4年6月まで実施した。

教育旅行については、旅行会社を対象とした誘致キャラバンをオンラインにより実施するとともに、県外における教育旅行誘致セミナーや商談会への参加、県内の教育旅行関係者に向けたセミナーの開催等により教育旅行の誘致促進に努めた。

また、SDGs探究プログラムを組み込んだモニターツアーを実施し本県教育旅行の魅力発信に努めたほか、県内の各地域が広域で取り組むスポーツ・文化合宿の誘致の取組を支援した。

海外誘客については、本格的なインバウンドの再開を見据え、受入環境やコンテンツの整備を進めるとともに、ターゲットとなる国々に対する効果的なプロモーションの実施や、当協会の英語サイト「Fukushima Travel」やSNSを中心とした情報発信に取り組んだ。

また、台湾からのツアー造成や国際教育旅行誘致のため、現地において商談会への参加や学校訪問を実施したほか、台湾やタイなどからの旅行商品を開発・企画する旅行会社等への商品造成の支援を行った。

ホープツーリズムについては、教育旅行と企業、団体等による人材育成研修を中心として、協会受注ツアーの催行や他の旅行会社からの受注手配（ランドオペレーター）等に適切に対応し、また、新たなコンテンツの開拓、ツアーの進行役であるフィールドパートナーの確保・育成、企業研修プログラムの造成等により内容の充実を図った。

協会受注ツアーにランドオペレーター業務を加えたホープツーリズム全体では、319件、17,806名の参加実績となり、前年度との比較で件数が約2.3倍、参加者数が約1.8倍となった。

県産品振興事業については、福島県観光物産館及び大阪サテライトショップ、日本橋ふくしま館を核として、来館者に県産品の魅力発信と販売促進を図ったほか、流通業者や消費者からの情報を事業者・生産者へフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。

福島県観光物産館、日本橋ふくしま館においては、令和4年10月1日に新POSシステムへの切り替えを行い、セミセルフレジの導入により、会計のスピードアップや多様な支払い方法への対応などによりお客様の利便性向上を図った。

また、BtoB型（企業間取引）卸売事業の取引拡大や、BtoC型（小売販売）オンラインストア「ふくふくマルシェ」の運営を通し、県産品の販売促進、販路拡大を図った。

福島県観光物産館は、県民の方々や福島県を訪れる観光客に広く親しまれるよう、新商品や季節商品、話題性のある商品の紹介・展示・販売を行うとともに、ふくしまラウンジメニューの充実、切れ目のない飲食の提供等により、新たな客層の開拓や利用者の満足度を高めるような取組を行った。

また、福島県が開発した新品種のいちご「ゆうやけベリー」、米「福、笑い。」、桃「はつひめ」、りんご「べにこはく」などの農産物などを積極的に販売するとともに、年間を通じた常磐物の海産物販売に努めた結果、売上額は859百万円（税抜）と過去最高となった。

日本橋ふくしま館は、切れ目のない催事によるにぎわい創出や旬の商品や話題性のある商品など魅力ある県産品の品揃えの充実を図るとともに、積極的な外販対応の実施により、売上額は381百万円（税抜）と前年度を上回った。経営診断に基づき策定した経営改善計画に基づき、適切な運営に努めるとともに、首都圏において、優れた県産品の魅力を始め、本県の観光情報、定住・二地域居住情報、復興へ向かう「ふくしまの今」を総合的・継続的に発信し、県産品の風評払拭と販路拡大、観光誘客を図った。

外販については、コロナ禍で2年間実施できなかった省庁・企業向け販売会や大規模イベントでの販売会を再開させるとともに、ふくしま応援企業ネットワークを始め、様々な企業・団体、行政機関等へ積極的に働きかけを行い、企業・大学、自治体主催イベントなど新規外販先の開拓を図った。

県産品流通促進事業については、物産展事業では、東北各県や全国の観光物産協会等との連携のもと、全国主要都市の百貨店等において観光物産展や地下催事を実施し、本県の優れた県産品のPR及び販路拡大とともに観光客の誘致促進を図った。

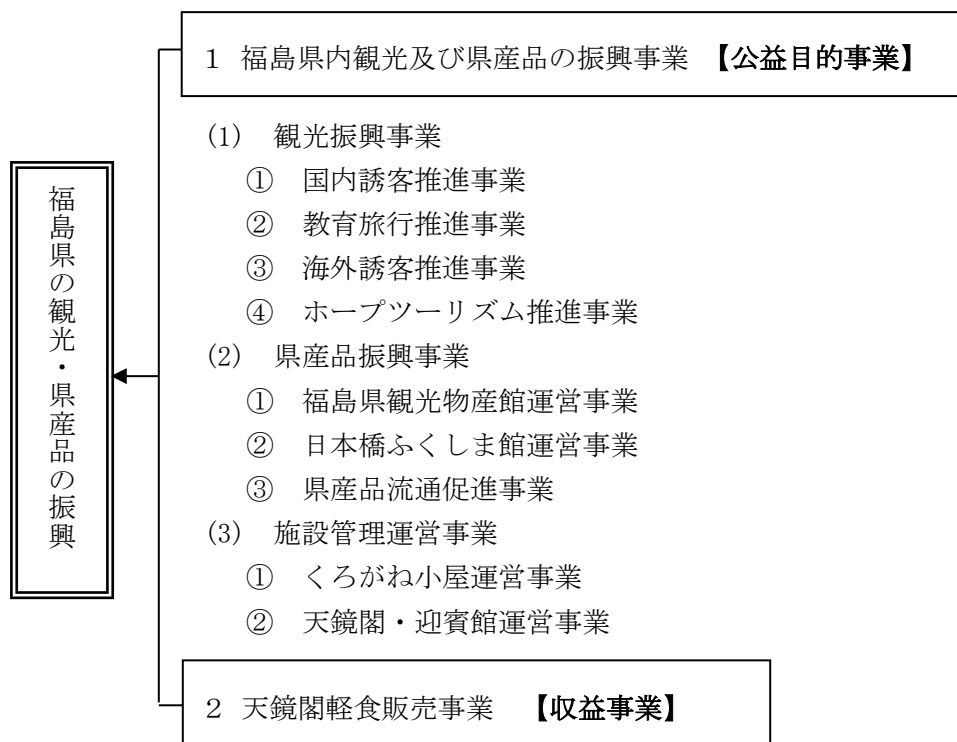
卸売事業では、県外を中心に福島県の酒等県産品の営業活動を積極的に行い、販売促進を図ったことにより、卸売額は約96百万円（税抜）となり、前年度に比べ26.4%の増となった。

施設管理運営事業については、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、施設の適切な管理運営を行った。

くろがね小屋運営事業は、前年度より宿泊者数の上限を引き上げて営業を行ったことにより、宿泊客数は、前年度より34.8%の増加となった。また、県による建替等の工事着手の状況を踏まえ、令和5年3月末での営業休止について、県と連携し利用者への周知を行った。

天鏡閣・迎賓館運営事業については、季節に合わせた各種イベントを開催するとともに、団体客の誘客促進のため、観光部と連携しオンライン旅行商談会等での情報発信に取り組んだ結果、来館者数は前年度に比べ56.7%の増となった。

Ⅱ 事業体系



Ⅲ 事業実績

1 福島県内観光及び県産品の振興事業【公益目的事業】

(1) 観光振興事業

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の動向等に留意し、オンライン等の手段を積極的に活用しながら、本県全域を対象とする地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携し、国内誘客、教育旅行、海外誘客、ホープツーリズムの4つの柱により事業を展開するとともに、地域が主体となった観光地域づくりを推進した。

① 国内誘客推進事業

ア 観光デジタルプロモーション強化事業

- ・ ふくしまDMPの管理運営

データ可視化ツール「Tableau online (タブローオンライン)」上にふくしまDMPを構築し、当協会公式サイト「ふくしまの旅」のアクセスデータや観光予報プラットフォーム、SNSデータ等を繋ぎ込んだ。また、Google analytics のバージョンアップ (GA4) に対応するためDMPの改修を行った。

- ・ デジタルプロモーションの実施

協会職員がふくしまDMPを活用して計13回のデジタルプロモーションを実施した。具体的には「キャンプ」「紅葉」「スキー」「温泉」等のテーマに対し、ふくしまDMPを参照してターゲットや最適な広告媒体を分析し、Google、instagram、Youtube上に広告を掲載し「ふくしまの旅」内の特集ページ、記事等へ誘導を図った。また、広告費に対するクリック率 (広告単価) の算出も行い、デジタルプロモーションに対

する事前分析から事後検証までを一連のPDCAとして実施した。

・ デジタルマーケティング実践研修の開催

上記のプロモーションを協会職員が自ら行うに当たり、計13回のデジタルマーケティング実践研修を開催し、下記の専門家による伴走支援を実施した。

(株) SATORU 代表取締役 橋本浩寿氏

(株) CELLMULLER 代表取締役 吉田 宣仁氏

(株) デイアライブ アカウントマネージャー／プロデューサー 古畑健吾氏

イ 観光地域づくり総合推進事業

新型コロナウイルスを始めとした外的要因に大きく左右されない、安定的で継続的な国内観光需要を獲得するため、地域が主体となった観光コンテンツの磨き上げや、マイクロツーリズムの要素を取り入れた域内観光モデルの創出を行った。

(ア) 観光コンテンツブラッシュアップ支援事業

地域が主体となったコンテンツの磨き上げをサポートするため、コンテンツの造成や磨き上げを支援する「コンテンツ支援」の対象地域6箇所と、地域の観光事業者等による機運の醸成や課題の抽出等を行う「スタートアップ支援」の対象地域2箇所を選定し、当協会が提携するアドバイザーとともにヒアリングやワークショップを実施しながら、ターゲットの明確化、コンテンツの高付加価値化、モニターツアーによる検証、商談会でのPR等に取り組んだ。

【コンテンツ支援】

対象地域	申請団体	テーマ	主な実施内容
いわき市	(一社) いわき観光まちづくりビューロー	農、食、健康、修行等をテーマにした企業研修プログラムの造成	・ ワンダーファーム、ファーム白石、関伽井嶽薬師常福寺、いわき健康センターによる企業研修プログラムの造成 ・ ツーリズムEXPO出展 令和4年9月22～25日 ・ モニターツアーの実施 令和5年2月15、16日 参加者4名
相馬市	松川浦ガイドの会	「復活の浜焼き」等のコンテンツの販路拡大と宿泊セットプランの造成	・ 浜の駅松川浦や相馬市街なかマルシェ、その他県内外のイベントへの出店によるブランド周知の向上 ・ 宿泊セットプランの試験販売 令和4年10月23、24日 宿泊者数10名 ・ 新コンテンツ「ワサビ収穫体験」「渡り蟹釣り見学体験」の検討
田村市	田村市高原観光プロジェクト	地域の体験コンテンツを集めた里山あそび体験博「キャンぱく」の開催	・ 「キャンぱく」の開催 令和4年10月22日～11月19日 体験コンテンツ数 10件 参加者（販売）数 107名

猪苗代町	会津リバティ協議会	沼尻、中ノ沢地区のアウトドアアクティビティの磨き上げ	・ガイド付きトレッキングツアー「ボルケーノトレイル」、ヘリコプターによる山旅「ボルケーノフライト」によるモニターツアーの実施 令和4年11月11、13日 参加者 20名 ・アウトドアをテーマとした飲食、物販、音楽等の複合イベント 「Project Nowhere」の開催 令和4年11月12、13日 出店店舗数 44店舗 集客数 約650名
郡山市 (湖南地区)	(一社) 郡山市観光協会	着地型年間体験プログラム「一つのワインができるまで」の造成	・ぶどうの栽培から湖南町産ワインができるまでを一つの体験とした通年型体験コンテンツの造成 ・モニターツアーの実施 令和4年12月17日 参加者 10名 ・主体となる団体「はじまりの葡萄プロジェクト」の立ち上げとキックオフセレモニーの開催 令和5年2月17日 参加者 30名
金山町	(一社) 金山町観光物産協会	霧幻峡の渡し、妖怪・民間伝承などをテーマにしたコンテンツの開発	・「霧幻峡の渡し」に地元産食材を使った軽食のセットプランを造成 ・奥会津体験博覧会「せど森の宴」による試験販売、モニターツアーの実施 「霧幻峡の渡し 水上の贅沢朝時間(軽食セットプラン)」試験販売 令和4年11月15日 参加者 7名 「奥会津妖怪ツアー」 モニターツアー 令和4年10月16日 参加者 13名



田村市「キャンぱく」販売コンテンツ
～ツリークライミング～



金山町「霧幻峡の渡し」
～水上の贅沢朝時間～

【スタートアップ支援】

対象地域	申請団体	主な実施内容
埴町	(一社) 埴町観光協会	・アドバイザーによるワークショップの開催 各3回 ・目指すべきゴールの検討、機運醸成、地域資源の見直し等
鮫川村	(有) 鹿角平観光センター	

(イ) 域内観光モデル創出事業

マイクロツーリズムをテーマとして県内や近県をターゲットとした観光モデルを創出するため、支援対象エリアを2箇所選定の上、同エリア内の観光事業者、宿泊事業者等と連携し、スポットの掘り起こし、ターゲットに合わせた新たな魅力の発信、モデルコースの造成、モニターツアーによる検証等を行うとともに、特設サイト及びInstagram「あしたの散歩帖」による情報発信を行った。

対象地域	申請団体	モデルコース・スポットの概要
埴町	(一社) 埴町観光協会	道の駅はなわ、奥久慈蒸留所、久慈川サイクリングロード、常世温泉、ダリア収穫体験 等
桑折町、国見町、福島市 (飯坂温泉)	(一社) 桑折町振興公社、 国見まちづくり株式会社、 飯坂温泉観光協会	ピザ作成体験、桑折町内散策、道の駅くみにみ、草木染め体験、浴衣で飯坂温泉散策 等

- ・ 設定したモデルルートを検証するためモニターツアーを実施した。
埴町 令和4年10月22、23日
桑折町、国見町、福島市(飯坂温泉) 令和4年11月12、13日
- ・ モデルルートのPR動画作成、スポット写真の撮影等を行い、「あしたの散歩帖」公式サイト及びInstagramに掲載して情報発信を行った。
- ・ 令和3年度に同事業による支援を行った相馬市、岳温泉において、Instagramによるフォトキャンペーンを実施した。 投稿件数 402件



「あしたの散歩帖」
公式サイト・Instagram



モニターツアー(桑折町)
Legare Koori

ウ 「福が満開、福のしま。」福島県観光情報総合発信事業

県内の市町村、観光団体等と連携し、観光に関する各種お知らせ、季節に応じたイベントやお祭り、桜、山開き、紅葉等の情報を取りまとめ、ホームページ「ふくしまの旅」

や各種SNSによる情報発信を行うとともに、季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」を発行した。また、本県観光PRのため首都圏における各種イベントに出展した。

(ア) 「ふくしまの旅」 延べビュー数 25,672,455pv
(前年同期 30,891,855pv)

(イ) Twitter (ツイッター)

ツイート数 2,838回、フォロワー18,739名(令和4年度末時点)
フォロワー数が昨年度同時期から約1.4倍の増となった。

(ウ) Instagram (インスタグラム) 投稿回数104回、

フォロワー6,123名(令和4年度末時点)
フォロワー数が昨年度同時期から約1.3倍の増となった。

(エ) 「ふくしまほんものの旅」の発行

- ・ 秋・冬号(8月) 7.5万部 JR版 5万部
- ・ 春・夏号(2月) 7.5万部 JR版 5万部

(オ) イベント出展 5回

- ・ 夏の旅観光展 IN 大宮駅 2022 (7/22~24 さいたま市大宮駅)
- ・ ツーリズム EXPO ジャパン 2022 (9/22~23 東京ビッグサイト)
- ・ 浜フェス 2022 (11/5~6 六本木ヒルズ)
- ・ 冬スポ!! WINTER SPORTS FESTA 2022-2023
(11/11~13 埼玉スーパーアリーナ)
- ・ 令和4年度ふくしま観光商談会 (2/7 ホテルメトロポリタンエドモント)

エ コンベンション開催支援事業

県による補助事業「コンベンション開催支援事業」の申請受付業務を担当するとともに、広告チラシの作成を行った。

- 受付件数 19件(うち2件中止)、延べ宿泊者数 8,274名
※昨年度受付件数6件(うち中止3件)、延べ宿泊者数 787名
助成金額 13,730千円(交付決定は県実施)
※昨年度助成金額 1,100千円
- 県内の各種団体、コンベンション施設等と連携し、都内において営業活動を実施
令和4年6月22、23日 令和4年9月28、29日

オ ふくしま体験周遊受入体制整備事業

登山者向けサイト「やまふく」を活用し、登山とともに観光や食事などを楽しめるモデルコースの情報や、周辺地域の体験コンテンツ、温泉、お土産等に関する情報発信を行った。

- ホームページ「やまふく」
延べビュー数 280,137pv
(前年同期 330,449pv)
- 山のコンテンツを海外向けに発信するため、「やまふく」の内容のうち西吾妻山、安達太良山、裏磐梯、小野岳のコースを英語に翻訳し、当協会英語サイト「FUKUSHIMA TRAVEL」に掲載した。



登山者向けサイト「やまふく」

カ 福島県観光誘客促進・情報発信事業

イベント会場でのパンフレット配布等による観光PRを行うとともに、本県復興と風評被害の払拭に向け、県内旅館ホテルの女将さんによる官公庁への訪問活動や日本橋ふくしま館における観光PRを実施した。

(ア) イベント会場での観光PR

- ・ バンクシーって誰？展（6/29～8/24 ビッグパレットふくしま）
- ・ ふくしまSDGs博（9/25 ビッグパレットふくしま）
- ・ 旅するふくしま物産展（1/5～1/11 うすい百貨店）
- ・ 郡山コンベンションフェア（3/7 郡山ビューホテルアネックス）

(イ) 福島県女将さん復興キャラバン

実施日 令和4年10月18日（火）
参加団体 県旅館ホテル生活衛生同業組合
女性委員会、県観光誘致協議会等
実施内容 復興庁の小島副大臣及び経済産業省の太田副大臣を訪問
日本橋ふくしま館での観光PRを実施



女将さん復興キャラバン（復興庁）

キ ワークーションを活用した観光支援事業

新型コロナウイルス感染症により注目を集める新たな就業形態「ワークーション」を普及させるため、モデル地域3箇所を選定の上、受入環境の整備やモニターツアーによる検証等の支援を実施した。また、モデル地域内の31宿泊施設に対し、Wi-Fiやエアコンの設置等、ワークーション環境の整備に対する支援を行った。

さらに、観光庁による宿泊施設向けバリアフリー、ストレスフリーの補助金に対する県の上乗せ補助金について、申請の窓口業務を担当した。

(ア) ワークーションモデル地域

- 猪苗代町（採択団体：猪苗代湖・磐梯山観光推進プロジェクト協会）
環境整備：ワークーションWEBサイトの整備
モニターツアー：2回 計10名参加
取組内容：企業研修プログラム整備、首都圏企業への営業
- 飯坂温泉（採択団体：飯坂温泉旅館協同組合）
環境整備：ワークーションWEBサイトの整備、コワーキングスペース整備
モニターツアー：2回 計10名参加
取組内容：セミナー、企業研修プログラム整備、近隣企業への営業
- 郡山市（採択団体：郡山市観光協会）
環境整備：ワークーションWEBサイトの整備
モニターツアー：2回 計10名参加
取組内容：企業研修プログラム整備、県内企業への営業

(イ) 観光庁上乗せ補助金

- ・ バリアフリー化 1件
- ・ Wi-Fi整備 2件

ク 福島県観光周遊宿泊支援対策事業（県民割プラス、ブロック割）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内観光業の再生に向け、県内宿泊施設の利用促進と周辺観光関連事業者の需要拡大を図るため、宿泊費の助成、クーポン券の配付等の支援を行った。

	時期	宿泊助成（最大）	クーポン
福島県民	令和3年10月～	1万円	2千円
福島県民以外	令和4年4月～	5千円	2千円

【事業の経過】

- 令和3年度
 - ・ 9月28日 事業開始発表
 - ・ 10月 1日 予約受付開始
 - ・ 10月 4日 宿泊助成適用
 - ・ 1月25日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により新規予約停止
 - ・ 3月25日 新規予約を再開
- 令和4年度
 - ・ 4月 1日 岩手県、宮城県、秋田県、山形県、新潟県の在住者を助成対象に追加
 - ・ 5月 9日 北海道、青森県、栃木県、群馬県、茨城県在住者を助成対象に追加
 - ・ 6月 3日 予約分（7月1日チェックアウト分）まで事務局を受託以降は「福島県「来て。」割」の事務局に体制を引き継ぎ

【実績】

	令和4年度実績	実績合計（R3、R4）
宿泊クーポン	1,630,491千円	4,638,875千円
特典クーポン	332,940千円	1,234,448千円
県民割利用泊数	222,327人泊	673,081人泊

ケ 歩いて楽しむ復興探究事業

東日本大震災及び福島第一原子力発電事故により避難を余儀なくされた地域において、歩いて復興の状況に触れることのできるフットパスコースを造成し、多くの人々に復興の状況や地域の魅力を実感してもらうことにより、地域の賑わいの創出や活性化に取り組んだ。視覚的な取組みとして各地域の暫定マップを作成し、旅行情報サイトやアウトドア雑誌などに記事掲載を行った。

取組地域： 葛尾村、川内村、田村市
 取組概要： キックオフセミナー
 令和4年11月14日（月）
 川内村にて33名参加



葛尾村フットパスモニターイベント

- ※フットパスとは何か、事例とともに参加者と意識合わせ。
- ・ ワークショップ
 令和4年12月2日（金）から令和5年2月1日（水）まで
 ※同一又は各地域にて複数回、コンテンツ洗い出し・再確認。

- ・ イベント
令和5年2月4日（土） 葛尾村にて75名参加
※芸能人やインフルエンサーの参加で情報発信。

② 教育旅行推進事業

ア 教育旅行誘致促進事業

(ア) オンラインキャラバンの実施

教育旅行誘致キャラバンをオンライン形式とし、旅行会社の教育旅行担当者を対象として22都府県に対し実施した。

- ・ 対象地域：近隣エリア（新潟県、栃木県、茨城県、群馬県）
首都圏エリア（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
関西・東海エリア（大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、愛知県、三重県）
九州・沖縄エリア（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県）
- ・ 実施期間：令和4年7～10月の期間に8回に分けて実施
- ・ 参加旅行会社：68支店84人 ※昨年度72支店（128名）

(イ) 東北観光推進機構主催セミナー・商談会への参加

- ・ 実施期間：令和4年7月～9月
- ・ 実施会場：5会場（北海道・東京・名古屋・大阪・九州）
- ・ 実施内容：東北6県等からのプレゼンテーション、学校、教育旅行関係者との商談会



東北観光推進機構主催
セミナー・商談会（九州）

(ウ) 教育旅行セミナーの開催

県内の旅行会社、観光施設、観光協会、市町村等を対象とした教育旅行セミナーを開催した。

- ・ 実施日：令和5年3月14日（火）
- ・ 参加数：54団体（66名）
- ・ 内 容：和歌山大学経済学部 大澤健教授による講演
ホープツーリズムの取組に関する説明

(エ) 「ふくしま教育旅行」ホームページ運営管理

- ・ ホームページ情報発信件数 42件 ※前年度45件
- ・ アクセス数 2,875,362pv ※前年度1,993,023pv

(オ) 教育旅行関係者へのメールマガジンの配信

- ・ 配信回数 12回（1回当たり約2,500箇所へ配信）

(カ) 教育旅行ワンストップ窓口対応

- ・ 相談件数：207件（前年度272件）

(キ) 教育旅行入込調査の実施

令和3年度の教育旅行入込に関する調査を県と連携して実施。

- ・ 調査対象施設数：568件
- ・ 調査協力施設数：494件（回答率87.0%）
- ・ 延べ宿泊者数：222,424人泊 ※前年度 99,361人泊
- ・ 学 校 数：2,751校 ※前年度 1,823校

イ 教育旅行魅力発信強化事業（教育旅行推進課で実施したもの）

（ア）SDGs探究プログラムによる魅力の発信

前年度に造成したSDGs探究プログラム38件について、ガイドブック及び学習ノートを作成し、約4,000箇所の学校、旅行会社等に送付するとともに、プログラムの内容をメールマガジンにより配信した。

（イ）教育旅行モニターツアーの実施

- ・ 対象者：小中学校、高等学校の教員及び教育委員会職員等
- ・ 参加校：2府9県から延べ26校
(栃木県・群馬県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県)
- ・ 実施回数：4回
- ・ 参加者数：教員27名、教育委員会関係者等4名

（ウ）教育旅行総合ガイドブックの作成 10,000部

ウ 合宿の里ふくしま復興事業

県内の各地域において実施する広域的な合宿誘致の取組を支援するとともに、合宿に関するワンストップ窓口やポータルサイトの運営等を行った。

（ア）地域連携に向けた支援

複数市町村で構成するエリアなど広域的な合宿誘致の窓口を設置し、エリア単位でチラシ、パンフレット、WEBサイトの作成等を実施するとともに、学校や旅行会社への訪問活動、各種イベントへの出展等による誘致活動を行った。

【令和4年度新規支援エリア】

- ① 北塩原村・磐梯町・猪苗代町エリア
- ② ふくしま田園中枢都市圏（県北広域圏9市町村）エリア

【継続支援エリア】

- ③ 新地町・相馬市エリア
- ④ 県南エリア
- ⑤ 広野町・檜葉町・富岡町エリア
- ⑥ 南会津町・下郷町・只見町・檜枝岐村エリア
- ⑦ 二本松エリア
- ⑧ 郡山エリア

（イ）合宿の誘致活動

本県への合宿誘致のため協会職員による訪問活動を実施した。

訪問先：都内の大学（6箇所）及び合宿取扱い旅行会社（7社）

実施日：令和5年2月8日（水）～9日（木）

エ 教育旅行推進委員会の運営

教育旅行推進委員会を設置し、日頃の教育旅行誘致促進に関する取組や各エリアでの受入・対応の情報を委員と共有することで、県内全域での教育旅行誘致促進を図った。

- ・ 第1回：6月3日 12名参加 ※県1名
- ・ 第2回：12月8日 10名参加
- ・ 第3回：3月14日 13名参加 ※県3名

③ 海外誘客推進事業

ア デジタルコンバージョン事業

地域と連携して訪日客向けコンテンツを整備するとともに、各地域において通訳案内士の活用や海外誘客の核となるプレーヤーの育成に取り組んだ。また、前年度整備した

コンテンツを当協会の英語サイト「Fukushima Travel」において販売した。さらに、新型コロナウイルス感染症に対する衛生対策や新たな旅行トレンド、浜通りの復興の姿などを海外誘客専門員によるSNS等により海外に向けて発信した。

(ア) 地域との連携

- ・新たなコンテンツを10件選定し、モニターツアーの実施等を通して外国語による案内や外国人旅行者への対応能力等の向上を図り、海外向けコンテンツとして磨き上げを図った。

コンテンツ名	対象地域	実施主体
フルーツ狩り体験	福島市	まるせい果樹園
和紙漉き体験&ランプシェード作り体験	二本松市	二本松和紙伝承館
狐のお面絵付け体験	郡山市	デコ屋敷・本家大黒屋
東北最古のウィスキー蒸留所の見学	郡山市	笹の川酒造・安積蒸留所
ドリフトタクシー	二本松市	エビスサーキット
霧幻峡の渡し	金山町	金山町観光物産協会
会津塗蒔絵	会津若松市	会津塗伝承蔵鈴善
あかべこ絵付け	会津若松市	鶴ヶ城会館
スノーシュー体験	北塩原村	はれがさやアクティビティー
スノーモービル体験	福島市	CHANNEL SQUARE



二本松市エビスサーキット
ドリフトタクシー

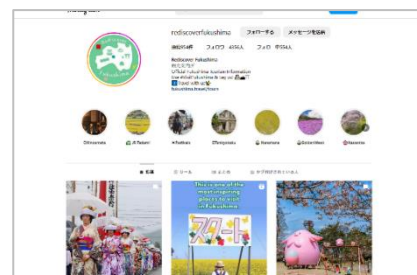


福島市 CHANNEL SQUARE
スノーモービル体験

(イ) デジタルプロモーションの実施

デジタルマーケティングの観点から外国人の興味・関心などを分析し、前年度に本事業で磨き上げたコンテンツも含め、SNSを中心とした情報発信や動画を活用したWEBプロモーションを実施した。

- ・ Facebook 投稿数 118回
36,539エンゲージメント
- ・ Instagram 投稿数 265回
211,858インプレッション
- ・ ライブ配信 (Facebook)
回数 64回 206,461リーチ
- ・ 多言語WEBサイトのビュー数
1,380,246pv



FUKUSHIMA TRAVEL インスタグラム

内 訳：英語 1,251,084pv (前年同期 1,171,513pv)

中国 101,027pv 韓国 28,135pv 越 (ベトナム) 42,187pv

イ 福島インバウンド誘客周遊促進事業

台湾、タイ、ベトナム、欧米市場等からの旅行商品を開発・企画する旅行会社等に対し、商品造成の支援を行った。なお、県内バスを利用した場合や浜通り地域へ宿泊した場合の加算などを追加して実施した。

支援旅行会社数：16社（国籍内訳：タイ7社、台湾8社、韓国1社）

支援対象ツアー数：178件

支援金額：57,434千円

ウ 国際教育旅行等誘致促進事業

台湾において福島県教育旅行セミナーを開催し、本県の正しい情報や教育旅行素材のPRを行った。また、本県への教育旅行の誘致のため教育旅行関係者を招請して本県の現状を発信した。

（ア）現地セミナー

○令和5年2月20日 台北市
26校 40名参加

○令和5年2月22日 高尾市
20校 28名参加

（イ）フォローアップセールス（19校）

- ・新北市五股国立中学校
 - ・台北市立建国高級中学校
 - ・国立虎尾高級農工職業学校
 - ・台中市立台中家事商業高級中等学校
 - ・桃園市立桃園高級中等学校
 - ・台中市立豊原商業高級中等学校
 - ・国立新竹科学園區実験高級中等学校
 - ・台北市立松山高級工業農業専門学校
 - ・国立竹山高級中学校
 - ・国立曾文高級家商職業学校
 - ・大安高級工業職業学校
 - ・新竹国立関西高級中学校
 - ・高雄市立高雄女子高級中学校
- ほか

（ウ）招請

JNTO主催 ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業（南東北3県連携）

日程；令和5年2月14日（火）～2月17日（金）

※福島県への訪問は2月14日～15日

参加校：国立臺南家齊高級中等學校

国立金門高級中學

新竹縣立湖口高級中學

臺中市立東勢工業高級中等學校

嘉義市私立東吳工業家事職業學校

新北市南強高級工商職業學校

訪問先：スパリゾートハワイアンズ(宿泊)、

東日本大震災・原子力災害伝承館、

浪江町立請戸小学校、大平山霊園、

松川浦(浜焼き)、和田観光農園(いちご狩り)等



福島県教育旅行セミナー(台北)



台湾からの学校関係者招請(松川浦)

エ JICA青年研修事業

国際協力機構（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、これら諸国の未来の国造りを担う分野の青年層を対象に開催する研修を受託し、中央アジアの国々に福島県の「防災まちづくり」に関して、研修を開催した。

開催日程：令和5年2月1日（水）～2月10日（金）※オンラインで実施

参加者：8名（カザフスタン3名、キルギス3名、アゼルバイジャン1名、アルメニア1名）

研修内容：

研修内容	講師など
復興の状況、現在の状況	福島県生活環境部国際課
福島に暮らす人々	（株）Jヴィレッジ
アートを使ったまちづくり	（一社）ふたばプロジェクト
福島第一原発の廃炉状況	東京電力HD福島復興本社
新しい産業の創設、取り組み	ロボットテストフィールド入居企業4社
安心安全な食に向けての取り組み	福島大学食農学類 小山教授
インフラの状況	日本大学工学部 岩城教授
除染	福島大学 環境放射能研究所 難波所長
人の動き（避難、定住、流入、移住支援）	東京大学大学院情報学環 開沼准教授
風評被害（経済的損失&デマ・差別・偏見）	東京大学大学院情報学環 開沼准教授
教育、人材育成、共創	東日本大震災・原子力災害伝承館 青砥常任研究員
地域づくりの事例	名取トレイルセンター 相澤事務局長
次世代に伝える取り組みの紹介	（一社）ブリッジフォーフクシマ 伴場代表理事
逆境からの立ち上がり、課題解決の姿勢	（株）小高ワーカーズベース 和田代表取締役

オ 国際観光推進委員会の運営

国際観光推進委員会の開催を通して、官民一体となった海外向けのプロモーション活動等を推進するとともに、日頃の取組等について委員と情報を共有し当協会の事業展開に繋げることで海外誘客の促進等を図った。

- ・ 第1回：令和4年 6月 3日 参加者13名 ※内県2名
- ・ 第2回：令和4年12月 1日 参加者13名 ※内県1名
- ・ 第3回：令和5年 3月24日 参加者13名 ※内県2名

④ ホープツーリズム推進事業

ア ホープツーリズム推進事業

福島でしか実施できない学びのツアー「ホープツーリズム」を核として、県内観光復興の推進を図った。

地域におけるホープツーリズムの受入環境を充実させるため、ツアーのファシリテートを担当するフィールドパートナー（FP）の新規確保や育成、コンテンツの磨き上げなどを行うとともに、企業等の人材育成研修による受入を強化するため、企業研修用プログラムを造成し、PR動画の作成やホープツーリズム公式サイトへの掲載などにより周知拡大に努めた。

(ア) 総合窓口運營業務

- ・ 問い合わせ件数 315件（新規269件・継続46件）
- ・ ホープツーリズム公式サイト運営
旅行会社登録数 329件（うち新規登録45件）
アクセス数 63,067pv
- ・ 復興に向けて果敢に挑戦する人々（ツアー参加者との対話を行う方）の
新規登録数 10人

(イ) 企業研修プログラムの造成

- ・ 企業、団体等が実施する人材育成研修用のプログラムを造成し、ガイドブック及びプロモーション用動画を作成した。
ガイドブック 1,000部作成
プロモーション動画DVD 300枚作成 ※公式ホームページにも掲載。
- ・ 研修プログラム造成に当たり企業、団体向けのモニターツアーを企画し、2回のモニターツアーに計18名が参加した。

(ウ) フィールドパートナー人材育成研修

ツアーの進行役となるフィールドパートナーの人材育成研修について、下記の区分により実施するとともに、フィールドパートナー講師用マニュアルを作成した。

- ・ 伝承館プログラム研修
講義2回、実践演習8回 参加人数31名（修了者27名）
- ・ 一般研修
講義5回
参加人数 9名（修了者9名）
- ・ スキルアップ研修
講義4回
参加人数 7名
- ・ SDGs研修
ワークショップ2回
参加人数13名



FP 伝承館プログラム研修

(エ) 旅行会社向けモニターツアーの実施

旅行会社による商品造成を促進するため、旅行会社社員向けのモニターツアーを企画し、2回のモニターツアーに計31名が参加した。

(オ) 参考資料等作成業務

ホープツーリズム用専用教材「福島のある日からいま」の更新、印刷
作成部数：8,000部

イ 教育旅行魅力発信強化事業（ホープツーリズム推進課で実施したもの）

(ア) 教員向けモニターの実施

- ・ 県外からの教育旅行誘致を図るため教員向けモニターツアーを企画し、9回のモニターツアーに計102名が参加した。

(イ) ガイドブック等の作成

- ・ ホープツーリズム総合ガイドブックの改訂・印刷 10,000部
- ・ ホープツーリズム学びノートSDGs版の印刷 3,000部

ウ ホープツーリズムツアー販売事業

【令和4年度ツアー販売実績】

	協会実施		ランオペ※1		合計		参考/3年度	
	件	人	件	人	件	人	件	人
教育旅行	19	386	46	4,981	65	5,367	26	2,393
企業・団体研修	35	1,391	9	367	44	1,758	25	493
コンテンツ※2	2	200	53	3,314	55	3,514	13	1,027
伝承館プログラム※3			155	7,167	155	7,167	77	5,935
計	56	1,977	263	15,829	319	17,806	141	9,848

対前年伸び率 件数 2.3 倍 人数 1.8 倍 ←

※1 ランオペ：ランドオペレーター（旅行会社からの手配代行業務）

※2 コンテンツ：学校、団体等に対する対話者・F P出張対話

※3 伝承館プログラム：東日本大震災・原子力災害伝承館の一般研修におけるガイドダンス、フィールドワーク、ワークショップへのF P派遣

エ ホープツーリズム推進協議会の開催

国、県、市町村、まちづくり会社、宿泊施設、旅行会社等の関係機関を参集し、「令和4年度ホープツーリズム推進協議会」をオンラインにより開催した。

開催日：令和5年3月17日

参加団体数：59団体

説明事項：ホープツーリズムの概要、実績、来年度の取組、連携先機関の取組等

(2) 県産品振興事業

① 福島県観光物産館運営事業

常設の展示・販売を行うとともに、9回連続金賞受賞数日本一清酒フェア、開館19周年フェア、ブランド米「福、笑い」フェア、スイーツフェア、市町村関連のイベント、生産者の対面販売を中心とする各種企画催事を開催した。

各コーナーにおいて、季節や客層に応じて商品構成を充実拡大し販売商品の品揃えを豊富にするとともに、新聞折込チラシによる話題商品の紹介、ふくしまラウンジにおける新メニューの提供、地元客向けの商品充実を図ったこと等により、観光物産館オープン以来最高の売上となった。

【展示状況】 出品者数 1012社 展示点数 約7,000点

【販売状況】 売上額（税抜）859,710千円（前年度比 114.2%）

販売点数 1,237,722点（前年度比 105.8%）

来館者数 647,236人（前年度比 108.3%）

購買者数 336,878人（前年度比 103.6%）

【大阪サテライトショップ】

売上額（税抜）11,053千円

（前年度 6,966千円 前年度比 158.7%）

外販が好調、イベントにも積極的に参加。

※ 令和3年度臨時休館（コロナ）：延べ84日（5/6～6/18、8/2～9/30）

ア 自主企画イベント、県内各地域催事等の開催 (新規企画)

- ・ 料理家 栗原はるみ氏を迎え、Zoomによる200名限定の料理教室を初めて開催。
その後、編集されたInstagramで視聴でき、総再生回数は30万回を突破。



栗原はるみ氏料理教室

- ・ 観光部の「歩いて楽しむ復興探究事業」と連携し、浅野撚糸(株)(双葉町進出企業)の人気商品タオルマフラー「ダキシメテフタバ ジャストフィットタオルマフラー」の協会オリジナルバージョンを浅野撚糸と共同開発、物産館で販売開始。



ジャストフィットタオルマフラー

(その他の催事)

- ・ 全国新酒鑑評会出品酒販売会 (5/13～24)
- ・ 9回連続金賞受賞数日本一フェア (5/25～)
- ・ サマーニットフェア (5/27～28)
- ・ 9回連続金賞受賞数日本一販売会&飲み比べフェア (6/10～ 6/24～)
- ・ 19周年フェア (7/8～21)
- ・ 金山赤カボチャフェア (8/27～28 9/16～17)
- ・ あぶくまフェア2022 (9/23～25 11/18～20)
- ・ NHK・民報4局とのコラボ企画「食リエーターファイル販売会」 (10/7～)
- ・ こだわり商品スリークフェア (10/7～8)
- ・ ふくしまのしょうゆフェア (10/7～16)
- ・ 太っ腹!保原市 (10/14～15)
- ・ 新米フェア 福、笑い。販売会 (10/28～10/30)
- ・ ふくしま花フェスプロジェクト2022販売会 (11/3)
- ・ いわき名品大集合 (11/4～5)
- ・ はま・なか・あいづ 秋の菓子祭り (11/11～13)
- ・ 県南販路拡大推進協議会販売会 (11/14～16)
- ・ 冬のニットフェア (12/2～4 1/20～22)
- ・ 南会津うまいものフェア (12/10～11)
- ・ 伊達ないいもんうまいもんフェス (1/14～15)
- ・ あだたら商工会物産フェア (1/27～28)
- ・ 奥会津んめえ!すんげえ!まるっと市(2/3～4)
- ・ ふくしまの棚田フェア 手打ちそばフェア (2/3～4)
- ・ ふくしまベストデザインコンペティション受賞販売会 (3/4～5)



ふくしま花フェス

イ 新商品・季節イベント企画等の情報発信

チラシの新聞折り込みを月2回、お中元、お歳暮ギフトチラシ各1回、クリスマスケーキ・おせち料理1回実施したほか、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

ウ パブリシティを活用した効果的なPR

マスコミに、催事企画・新商品等の話題を提供し積極的に情報発信を行った。

新聞掲載は50回以上、テレビ・ラジオ取材・出演は40回以上となった。

半年以上密着取材のあった「物産館館長のドキュメンタリー番組」は5月28日、年末に県内1時間番組で2回放送。フジテレビ系列の地方枠でも全国放送された。

エ 事業者・生産者への助言・情報のフィードバック

館長が講演会、研修会、セミナー等に参加し、新商品の開発や普及宣伝、販路開拓・拡大に取り組む事業者等に対して指導・助言などを行うとともに、流通業者や消費者からの意見や情報をフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。また、消費者、一般客向けの講演、講師も行い、県産品への更なる理解を深めるきっかけづくりにつながった。

【主な講習会等】

- ・ 「相馬ブランド」認証審査会
- ・ 「田村市ブランド」産品認証委員会
- ・ あいづまるごとネット講師（会津農林事務所）
- ・ 東京農大主催「農業経営セミナー」講評
- ・ 福島消費者懇談会 講演
- ・ 福島市アオウゼ講座 講師
- ・ 六次化創業塾 講師
- ・ ふくしま産業賞審査委員
- ・ 郡山市磐梯熱海観光物産館指定管理選定委員
- ・ 五輪ボランティア、シティーボランティアへの講演
- ・ 県産酒の楽しみ方セミナー入門編（受講者飲食あり）講師

オ 観光PR

物産と観光の連携を深めるため、観光パンフレットの設置、観光ポスターの掲示のほか、来館者の求めに応じ県内観光の案内を実施した。

カ 特定施設県産品選定委員会

特定施設（福島県観光物産館、日本橋ふくしま館）における取扱商品を選定するために「特定施設県産品選定委員会」を開催し、新たに707品目を選定した。

キ インボイス制度の対応とPOSシステム更新

令和4年10月1日に新POSシステムへの切り替えを行い、インボイス制度へのシステム対応を行うとともに、セミセルフレジ4台を導入し、会計のスピードアップを図るなどお客様へのサービス向上につなげた。

ク 新型コロナウイルス感染症対策

入館時のサーモグラフィーカメラ、手指消毒、定期的な換気、買い物カゴ等の消毒、行列の間隔の確保など感染防止対策を徹底するとともに、販売スタッフの健康管理（マスク着用、手洗い、うがい、毎日の検温）を徹底した。

② 日本橋ふくしま館運営事業

首都圏における風評払拭・風化防止の最前線として、優れた県産品の展示・販売や生産者による対面販売、県内各市町村等による各種催事企画を通じて、県産品の安全・安心や県内の震災後の復興状況、観光情報、定住・二地域居住情報等の総合的な情報発信を行い、県産品の販売促進・販路拡大、観光誘客を図った。

【展示状況】	出品者数	600社
	展示点数	約2,500点
【販売状況】	売上額（税抜）	381,872千円（前年度比 111.9%）
	店舗	291,757千円（前年度比 106.2%）
	外販	90,115千円（前年度比 135.4%）
	販売点数（店舗）	552,265点（前年度比 106.4%）
	来館者数（店舗）	326,458人（前年度比 106.9%）
	購買者数（店舗）	175,702人（前年度比 119.0%）
	※令和3年度臨時休館（新型コロナ）：延べ34日（5/1～6/3）	

ア 店内の充実

- 全国新酒鑑評会9連覇を達成した日本酒や桃などの旬の果物、メディアで紹介された新商品など話題性や時節を活かした商品を品揃えするほか、新商品やスタッフおすすめ品などを店頭やフェイスブック、ホームページ上で積極的に紹介した。
- 県の観光情報とそれに関連する商品を展示・販売する「観光企画展示コーナー」を設け、県内観光資源と県産品を有機的に結びつけて一体的にPRし、観光及び県産品の振興につなげた。
 - ・ 映画「シン・ウルトラマン」公開記念
：ウルトラマン関連商品・須賀川観光特集（5/14～7/8）
 - ・ 相馬野馬追開催記念
：相馬市・南相馬市観光・物産特集（7/8～25）
 - ・ ふくしま応援ポケモン「ラッキー」コーナー（7/30～8/13）
 - ・ 桜・お花見特集（3/6～3/31）
- 土日・平日の来館者層に着目し、土日はご家族で楽しんでもいただけるよう催事を充実させるとともに、平日は近隣にお住まいの方やお勤めの方に良質な県産品をPRするため、おすすめ商品や企画展示販売、旬の商品、メディア紹介商品などを積極的に展開した。
- 飲食コーナーでは、桃のスムージーや猪苗代地ビールなど新たな商品を提供したほか、日本酒飲み比べについては、時機を捉えたプレミアム感のある銘柄や季節感のある銘柄にするなどメニューを工夫して提供した。

また、様々なメニューを提供するため、新たな飲食事業者の発掘にも努めた。
- 7月20日に来館者300万人を達成し、同日にセレモニーを実施するとともに、7月23日～24日に来館者300万人達成フェアを開催した。



ふくしま応援ポケモン「ラッキー」コーナー

イ 誘客・情報発信

○ 「MIDETTEだより」の発行

月1回「MIDETTEだより」を発行し、催事やキャンペーン等の案内を行うとともに、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

○ 効果的な広告宣伝の実施

WEB広告の実施及び効果検証によりターゲットを絞った情報発信を行い、より効果的な広告宣伝を実施した。

また、開館8周年感謝フェアや年の瀬市、初売り時の特別商品PRのため、都内近隣地域へチラシ3万枚のポスティングを実施した。なお、ポスティング地域についても、WEB広告の効果検証を経て重点化するなど、効果的かつ効率的な広告宣伝を図った。

○ 定住・二地域居住に関する情報発信や観光業務の充実

本県への定住・二地域居住を推進するため、首都圏からの移住に関する情報の発信や相談業務等を行うとともに、来館者に対し本県の観光案内を実施し誘客を図った。

・ 定住・二地域居住、観光相談 228件



年の瀬市ポスティングチラシ

ウ 催事の充実

○ 日本酒試飲販売を始め県内事業者による販売会や国・県・市町村等による観光・特産品等PR事業など切れ目のない催事によるにぎわいを創出するとともに、福島

の「今」と魅力を発信した。

また、観光情報とそれに関連する県産品を展示販売する「観光企画展示コーナー」の設置など新たな取組も実施した。

- ・ 開館8周年フェア (4/8～12)
- ・ ゴールデンウィークフェア (4/28～5/5)
- ・ 母の日フェア (5/6～8)
- ・ 全国新酒鑑評会9回連続日本一記念フェア (5/25～7/3)
- ・ さくらんぼフェア (6/17～19)
- ・ サマーギフト好適品の展示販売 (7/4～7/30)
- ・ 来館者300万人達成大感謝フェア (7/23～24)
- ・ 会津夏祭り (7/28～31)
- ・ ふくしまの桃まつり (8/1～7)
- ・ ふくしま産業賞フェア (8/20～21)
- ・ 新米(早場米)特集 (8/23～31)
- ・ 金山赤かぼちゃフェア (9/3～5)
- ・ 秋あがり・ひやおろしフェア (9/3～5)
- ・ 福島県女将さん復興キャラバン (10/18)
- ・ 県オリジナル米「福、笑い」PR (10/28～30)
- ・ 新酒フェア (11/23～)
- ・ 味噌・醤油フェア (12/1～9)



来館者300万人達成(R4.7.20)

- ・ 酪王フェア（12/10）
- ・ 年の瀬市（12/26～30）
- ・ 2023 年初売り（1/2～3）
- ・ 檜葉町「ならはう米 GABA+」首都圏
発売イベント（1/7）
- ・ いちご&バレンタインフェア（2/11～14）
- ・ GAP 理解促進事業（2/11～12）
- ・ 会津物産フェア（2/21～22）
- ・ 農林水産省事業「ディスカバー農山漁村の宝」PR（2/25～26）
- ・ ナラティブ・スコラ事業PR（2/26）
- ・ こらんしょ春のふくしま県北（3/3～4）
- ・ ふくしまベストデザインフェア（3/4～14）
- ・ カルビー×大和川酒造コラボ商品発売記念販売会（3/21）



檜葉町「ならはう米 GABA+」発売イベント

- 県内の各市町村と連携した観光・物産PR事業を積極的に実施した。
- 全国に誇る福島日本酒の販売力を強化するため、県内の各酒蔵と連携して、日本酒試飲販売会を積極的に実施した。
- 飲食コーナーを活用し、お客様参加型イベントを開催するとともに、東京福島県人会によるミデッテ談話会を開催するなど首都圏における福島コミュニティへ貢献した。
 - ・ 夏の和楽器コンサート in MIDETTE（8/14）
 - ・ いわき遠野和紙・竹細工づくり体験（11/12～13）
 - ・ 本田ようーライブキッチン（11/23～24）
 - ・ 味噌づくり講座（1/28～29）
 - ・ 原木椎茸レシピ伝授の集い（3/4～5）
 - ・ けっぱって東北「東北応援コンサート」（3/10）
 - ・ 小山みつな民謡ミニライブ（3/11）
 - ・ 東京福島県人会「ミデッテ談話会」
（10/9、12/11、2/12）



夏の和楽器コンサート

エ 販路開拓（外販対応）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により2年間実施できなかった省庁・企業向け販売会や、大規模イベントでの販売会を再開させた。
また、ふくしま応援企業ネットワークを始め、様々な企業・団体、行政機関等へ積極的に働きかけを行い、企業・大学、自治体主催イベントなど新規外販先の開拓を図った。
 - ・ 外販実績 91 箇所、延べ 189 日（前年度対比 +59 箇所、+延べ 105 日）
- ふくしまの酒まつり 2022（9/1～2 J R 新橋駅西口 S L 広場）を始め、首都圏における福島県主催イベントに出展するなど、福島県とも連携を図りながら県産品の販売促進を図った。

オ 事業者・職員の育成

- 事業者による催事を積極的に行い、その中で新たな商品も積極的に取り入れ、首都圏における販売動向を確認するなどテストマーケティングにも取り組むとともに

に、販売動向を踏まえて、事業者へのフィードバックや館内品揃えへの反映などを行った。

- 催事事業者については首都圏の消費者の声をもとに販売スタッフとの意見交換などにより次回販売会につなげた。また、接客中に得た消費者の声については、事業者適切にフィードバックした。
- 福島現地研修を実施し、職員の県産品の知識の向上を図るとともに、県内事業者との連携強化や新規商品の開拓等を図った。

カ インボイス制度の対応とPOSシステム更新

令和4年10月1日に新POSシステムへの切り替えを行い、インボイス制度へのシステム対応を行うとともに、セミセルフレジ3台を導入し、会計のスピードアップを図るなどお客様へのサービス向上につなげた。

キ 新型コロナウイルス感染症対策

- 入館時のサーモグラフィーカメラ、手指消毒、定期的な換気、買い物カゴ等の消毒、行列の間隔の確保など感染防止対策を徹底するとともに、販売スタッフの健康管理（マスク着用、手洗い、うがい、毎日の検温）を徹底した。

③ 県産品流通促進事業

ア 物産展事業

本県の優良産品のPR及び販路拡大とともに、本県観光のPRを行い観光客の誘致促進を図るため、東北各県や全国の観光物産協会等と連携のもと、全国主要都市において観光物産展及び地下催事等を開催し、風評・風化対策に寄与するとともに、観光誘客を図った。

- ・ 開催回数 55回（前年度 50回）
- ・ 出展業者 延べ374社（前年度 269社）
- ・ 売上額（税抜）220,359千円（前年度 158,122千円、前年度比139.4%）

イ 卸売事業

単独では販売力の弱い事業者の販路開拓を支援し、県産品の流通促進・拡大を図るため、展示・商談会等で開拓した小売店等への積極的な営業活動を行うことにより、BtoB型（企業間取引）の卸売事業を行った。

- 販売先数 109先（前年度 103先）
- 販売商品メーカー数 195社（前年度 215社）
- 卸売額（税抜）95,971千円（前年度 75,946千円、前年度比126.4%）
- 商談会展
 - ・ 東海スーパーマーケットビジネスフェア（R4.7/20-21 ポートメッセなごや）
 - ・ ふくしまの酒 試飲商談会 in 大阪（R4.10/23-24 TKP 淀屋橋カンファレンスセンター）
 - ・ フードスタイル九州（R4.11/9-10 マリンメッセ福岡）
 - ・ よい仕事おこしフェア（R4.12/6-7 東京ビッグサイト）
 - ・ フードスタイル関西（R5.1/25-26 インテックス大阪）
 - ・ スーパーマーケットトレードショー（R5.2/15-17 幕張メッセ）

ウ 県産品ECサイト活用事業

コロナ禍により、新しい生活様式に根ざしたネット販売を活用した営業活動が求められていることから、令和3年9月に開店したオンラインストア「ふくふくマルシェ」の運営を通し、自身ではECサイトの運営が困難な事業者等の支援を行うとともに、消費者ニーズに応じた商品の充実などに取り組み、県産品の販売推進、販路拡大を図った。

- ・ 商品掲載数 283商品（令和5年3月31日現在）
- ・ 売上額（税抜） 15,462千円（前年度 3,380千円、令和3年9月開店）
前年度比 457.5%

エ 県産品デジタルアーカイブス事業

新作の商品や工芸品等を紹介するために、協会のホームページに、清酒、工芸品、農産物、加工食品等の動画、静止画（写真）を掲載する「県産品アーカイブス」ページを作成し、利用者（事業者、消費者）がストレスなくワンストップでWEB上から瞬時に商品情報を収集できる仕組みにより、ふくしま県産品ファン獲得の場を創出した。

【掲載素材について】 〔素材点数 300点〕

- ・ 写真 1,363枚を追加した。（累計 10,081枚）
- ・ 動画 189本を追加した。（累計 1,024本）

(3) 施設管理運営事業

① くろがね小屋運営事業

新型コロナウイルス感染症対策のため、引き続き宿泊者数の上限を減らし（50人→35人）営業を行った。

売店売上の増加を図るため、オリジナル商品の魅力向上のためのデザインの改良（手拭い、マグカップ）を行い、前年度に開発した商品（Tシャツ・マグカップ・温泉タオル）と合わせてオリジナル商品の販売促進に取り組むとともに、トイレ利用者から維持管理に係る協力金（目安金額100円）をいただくなど、売店収入の増加に取り組んだ。

また、地元観光協会等と連携して安達太良連峰トレッキングガイドを継続して配付するとともに、ホームページやSNSでの情報発信の強化等により誘客促進に努めた。

県による建替等の工事着手の状況を踏まえ、令和5年3月末までの営業休止について、ホームページでの告知や登山者への情報提供等により周知を図り、利用者の理解を得ながら予定どおり営業休止に至った。

- ・ 宿泊者数 4,076人（前年度比134.8%）
- ・ 売上額（税抜） 31,003千円（前年度比134.3%）



オリジナル商品

② 天鏡閣・迎賓館運営事業

ア 天鏡閣

施設の活用や設備・備品の管理運営を適切に実施した。

国指定重要文化財天鏡閣の魅力発信のため、新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら、季節に合わせた各種イベントを開催するとともに、SNSやホームページによる情報発信を積極的に行い認知度の向上及び誘客に取り組んだ。

また、施設の活用と誘客の促進を図るため、館内で漆芸品、点描画や水彩画などの美術作品の展示会やフルート奏者による演奏会を開催した。

- ・ 入館者数 20,767人 (前年度比156.7%)
- ・ 入館料収入(税抜) 6,314千円 (前年度比159.9%)

【実施イベント】

- ・ 天鏡閣と迎賓館の春まつり
令和4年5月3日～5日 入館者856名
(前年度451名/189.8%)
- ・ 福島県民の日記念イベント
令和4年8月21日 入館者428名
(前年度126名/339.6%)
- ・ 天鏡閣ライトアップハロウィンナイト
令和4年10月30日・31日 入館者411名(前年度449名/91.5%)
- ・ 文化の日記念イベント
令和4年11月3日 入館者246名(前年度179名/137.4%)



春まつり(天鏡閣)

【展示会等共催】

- ・ 漆芸工房角田作品展示 (5月1日～5日)
- ・ 着物リメイク作品展示 (6月26日～7月8日)
- ・ 曼荼羅点描画作品展示 (9月14日～28日)
- ・ フルートサロンコンサート (10月22日)
- ・ 水彩画展 (10月29日～11月6日)

【その他の取組】

- ・ Instagram等のSNSを活用し、情報発信を行った。
(3月末現在 フォロワー 297件)

イ 迎賓館

国指定重要文化財迎賓館の施設・設備・備品の管理運営を適切に実施した。

新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら、期間を限定した特別公開において通常非公開である建物内部を公開した。

また、特別開催イベントとして、紅葉が楽しめる10月に築100周年の記念イベントを開催し、文化財の魅力に触れる機会を提供した。

さらに、施設の活用と誘客の促進を図るため、館内で漆芸品、迎賓館調査研究成果展を開催した。



築100周年記念イベント

【特別公開実績】

期 間：5月1日～11月6日

設定日数：100日(見学実施日数76日)

(前年度設定日数110日・見学実施日数53日)

入館者数：763名・定員14名(前年度359名・定員8名/212.5%)

【実施イベント】

- ・ 福島県民の日記念イベント
8月21日 入館者数22名(前年度15名/146.6%)

【特別開催イベント】

- ・ 迎賓館築100周年記念イベント
10月9・16・23日 入館者数103名

【展示会等共催】

- ・ 漆芸作品展示（9月16日～23日）
- ・ 迎賓館調査研究成果展示（10月25日～11月6日）

2 天鏡閣軽食販売事業【収益事業】

天鏡閣の売店において、新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、軽食及び土産品を販売し、特に、会津の食材や季節感のある品揃えを意識し、新たに県産米「福、笑い」や会津産リンゴ、山ぶどうのジュース、三島麴入りの牛メンチの取扱いを開始し好評を得た。

また、館内においてロイヤルティや会津産果物を使用したタルトなど季節に合わせたスイーツを提供した。

さらに、好評を得ている試着体験用の明治風ドレスを新調することにより、利用者の満足度の向上とリピーターの獲得に取り組んだ。

- ・ 売上額(税抜) 3,953千円（前年度比145.1%）



天鏡閣内の売店

3 組織体制・財務体質の強化

(1) 組織体制の強化

各事業についてPDCAサイクルにより適切に進行管理を行い、効率的・効果的な運営を図った。

参加可能な研修等への積極的な参加、職員向け研修の開催等により業務知識の習得やスキルアップに努めた。

【主な研修】

- ・ 自治研修センター研修
- ・ 接客研修（協会主催）
- ・ リーダー研修（協会主催）
- ・ デジタルマーケティング実践研修（協会主催）
- ・ 県内現地研修会（協会主催）
- ・ 海外コンテンツ視察研修（海外商談会への参加に合わせて実施）
- ・ 公益法人協会主催研修

(2) 財務体質の強化

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、民間事業者の会費を免除した。また、新規会員の募集は見合わせた。

業務の安定的な遂行のため、将来の財源不足に備え剰余金の積立を行った。

【主な積立】

- ・ 公益目的事業財政安定化積立資金
会費の免除、基本財産運用益の減少、及び人件費、仕入代金支払等に備える積立
- ・ 県産品振興事業財政安定化積立資金
受託料収入の減少等に備える積立

- ・ 風評払拭活動資金
風評払拭活動のための積立
- ・ 販売管理システム関連費用積立資金
販売管理システムに係る使用料、保守料のための積立

IV 評議員会・理事会関係

1 評議員会

(1) 令和4年度第1回評議員会（決議の省略の方法） 令和4年4月1日

議案第1号 評議員補欠選任の件

議案第2号 理事補欠選任の件

(2) 令和4年度第2回評議員会 令和4年6月27日

議案第1号 令和3年度決算について

議案第2号 評議員の補欠選任について

議案第3号 理事の補欠選任について

報告事項(1) 令和3年度事業報告について

報告事項(2) 第3期中期事業・運営計画について

報告事項(3) 令和4年度事業計画・収支予算について

2 理事会

(1) 令和4年度第1回理事会（決議の省略の方法） 令和4年4月1日

議案第1号 理事長選定の件

(2) 令和4年度第2回理事会 令和4年6月10日

議案第1号 令和3年度事業報告について

議案第2号 令和3年度決算について

議案第3号 令和4年度第2回評議員会の招集について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 令和4年度第3回理事会 令和4年11月24日

議案第1号 令和4年度事業計画の変更について

議案第2号 令和4年度収支予算の変更について

報告事項(1) 令和4年度上半期事業実績及び今後の取組について

報告事項(2) 業務執行理事の職務執行状況報告について

(4) 令和4年度第4回理事会 令和5年3月28日

議案第1号 令和4年度収支予算の補正について

議案第2号 特定費用準備資金及び資産取得資金について

議案第3号 令和5年度事業計画について

議案第4号 令和5年度収支予算について

議案第5号 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第6号 令和5年度役員報酬について

議案第7号 令和5年度第1回評議員会の招集について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況報告について

V 役員等の異動

1 評議員の異動

令和4年4月	1日	選任	市村	尊広
令和4年6月	27日	辞任	有賀	義裕
		選任	渡部	謙一
令和5年3月	31日	辞任	市村	尊広

2 理事の異動

令和4年4月	1日	選任	守岡	文浩
令和4年6月	27日	辞任	今泉	仁寿、横江 良司
		選任	佐藤	洋平、遊佐 正広
令和5年3月	31日	辞任	今野	一宏、浜田 正隆

3 監事の異動

令和4年度中の異動なし。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成しない。

貸借対照表（総合）
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	9,473,082	8,025,805	1,447,277
普通預金	106,895,629	1,453,334,165	△ 1,346,438,536
売掛金	17,616,536	17,073,803	542,733
信販未収金	25,414,985	18,073,208	7,341,777
未収金	122,579,338	79,053,784	43,525,554
商品	27,381,891	28,350,674	△ 968,783
食材料	219,199	346,019	△ 126,820
貯蔵品	0	593,993	△ 593,993
前払費用	5,918,080	6,185,175	△ 267,095
仮払金	0	139,178	△ 139,178
貸倒引当金	△ 1,656,105	△ 1,142,004	△ 514,101
流動資産合計	313,842,635	1,610,033,800	△ 1,296,191,165
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	914,846,116	814,989,511	99,856,605
定期預金	0	100,000,000	△ 100,000,000
普通預金	2,753,884	2,610,489	143,395
基本財産合計	917,600,000	917,600,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,005,200	22,886,194	△ 14,880,994
運営強化積立預金	6,054,000	6,054,000	0
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	56,000,000	74,000,000	△ 18,000,000
人材育成積立資金	23,500,000	25,000,000	△ 1,500,000
公益目的事業財政安定化積立資金	162,000,000	21,000,000	141,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	70,000,000	50,000,000	20,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	35,000,000	35,000,000	0
風評払拭活動資金	40,000,000	0	40,000,000
販売管理システム関連費用積立資金	8,100,000	0	8,100,000
倉庫賃借費用積立資金	3,094,000	0	3,094,000
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	3,000,000	0	3,000,000
天鏡閣ホームページ改修資金	0	3,000,000	△ 3,000,000
物産館・日本橋販売管理システム入替資金	0	40,000,000	△ 40,000,000
物産館公用車購入資金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	418,753,200	280,940,194	137,813,006
(3) その他固定資産			
車両運搬具	3	169,488	△ 169,485
什器備品	17,420,312	1,665,988	15,754,324
ソフトウェア	8,154,500	1,186,434	6,968,066
電話加入権	298,552	298,552	0
敷金	2,284,000	2,262,000	22,000
保証金	2,200,000	2,510,000	△ 310,000
出資金	50,000	50,000	0
預託金	13,710	13,710	0
その他固定資産合計	30,421,077	8,156,172	22,264,905
固定資産合計	1,366,774,277	1,206,696,366	160,077,911
資産合計	1,680,616,912	2,816,730,166	△ 1,136,113,254
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	94,974,801	107,682,781	△ 12,707,980
未払金	100,000	100,000	0
未払費用	114,844,187	927,429,691	△ 812,585,504
未払消費税等	6,267,300	7,834,500	△ 1,567,200
前受金	11,350	362,980,500	△ 362,969,150
預り金	4,906,622	4,631,860	274,762
仮受金	7,768,877	6,608,484	1,160,393
未払法人税等	242,000	242,000	0
賞与引当金	18,433,233	18,194,652	238,581
流動負債合計	247,548,370	1,435,704,468	△ 1,188,156,098

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,005,200	20,819,222	△ 12,814,022
固定負債合計	8,005,200	20,819,222	△ 12,814,022
負債合計	255,553,570	1,456,523,690	△ 1,200,970,120
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	0	2,066,972	△ 2,066,972
寄付金	917,600,000	917,600,000	0
指定正味財産合計	917,600,000	919,666,972	△ 2,066,972
(うち基本財産への充当額)	(917,600,000)	(917,600,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(2,066,972)	(△2,066,972)
2. 一般正味財産	507,463,342	440,539,504	66,923,838
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(410,748,000)	(258,054,000)	(152,694,000)
正味財産合計	1,425,063,342	1,360,206,476	64,856,866
負債及び正味財産合計	1,680,616,912	2,816,730,166	△ 1,136,113,254

貸借対照表内訳表
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計								収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計	天鏡閣売店			
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館					
I 資産の部												
1. 流動資産												
現金	0	4,658,164	2,712,903	0	0	1,802,750	219,885	9,393,702	79,380	0	0	9,473,082
普通預金	33,390,085	24,622,014	16,892,765	23,829,270	2,366,024	2,438,142	273,642	103,811,942	199,641	2,884,046	0	106,895,629
売掛金	0	8,023,671	3,494,718	0	5,870,077	205,500	16,650	17,610,616	5,920	0	0	17,616,536
信販未収金	0	17,270,449	8,130,606	0	0	0	0	25,401,055	13,930	0	0	25,414,985
未収金	115,602,708	797,731	6,870	603,437	5,490,092	52,500	0	122,553,338	0	26,000	0	122,579,338
商品	0	15,644,632	10,482,807	0	286,711	10,504	0	26,424,654	957,237	0	0	27,381,891
食事材料	0	0	0	0	0	219,199	0	219,199	0	0	0	219,199
前払費用	90,860	0	5,408,170	221,730	9,900	6,020	0	5,736,680	0	181,400	0	5,918,080
貸倒引当金	△ 1,156,027	△ 260,918	△ 116,321	△ 6,034	△ 113,601	△ 2,580	△ 166	△ 1,655,647	△ 198	△ 260	0	△ 1,656,105
他会計貸付金	0	98,198,058	28,260,307	31,942,132	0	0	0	158,400,497	0	171,382	△ 158,571,879	0
流動資産合計	147,927,626	168,953,801	75,272,825	56,590,535	13,909,203	4,732,035	510,011	467,896,036	1,255,910	3,262,568	△ 158,571,879	313,842,635
2. 固定資産												
(1) 基本財産												
投資有価証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	914,846,116	0	914,846,116
普通預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,753,884	0	2,753,884
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
(2) 特定資産												
退職給付引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,005,200	0	8,005,200
運営強化積立預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,054,000	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	0	0	56,000,000	0	0	0	0	56,000,000	0	0	0	56,000,000
人材育成積立資金	23,500,000	0	0	0	0	0	0	23,500,000	0	0	0	23,500,000
公益目的事業財政安定化積立資金	162,000,000	0	0	0	0	0	0	162,000,000	0	0	0	162,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	0	0	0	0	70,000,000	0	0	70,000,000	0	0	0	70,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	0	0	0	0	0	35,000,000	0	35,000,000	0	0	0	35,000,000
風評払拭活動資金	40,000,000	0	0	0	0	0	0	40,000,000	0	0	0	40,000,000
販売管理システム関連費用積立資金	0	8,100,000	0	0	0	0	0	8,100,000	0	0	0	8,100,000
倉庫賃借費用積立資金	3,094,000	0	0	0	0	0	0	3,094,000	0	0	0	3,094,000
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	0	0	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000	0	0	0	3,000,000
物産館公用车購入資金	0	4,000,000	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000
特定資産合計	228,594,000	12,100,000	59,000,000	0	70,000,000	35,000,000	0	404,694,000	0	14,059,200	0	418,753,200
(3) その他固定資産												
車両運搬具	0	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	3
什器備品	565,419	9,919,530	6,858,880	0	38,200	0	0	17,382,029	0	38,283	0	17,420,312
ソフトウェア	0	7,384,500	0	0	0	0	0	7,384,500	0	770,000	0	8,154,500
電話加入権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	298,552	0	298,552
敷金	44,000	0	2,240,000	0	0	0	0	2,284,000	0	0	0	2,284,000
保証金	2,200,000	0	0	0	0	0	0	2,200,000	0	0	0	2,200,000
出資金	50,000	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	50,000
預託金	0	10,360	0	0	0	3,350	0	13,710	0	0	0	13,710
その他固定資産合計	2,859,419	17,314,391	9,098,880	0	38,200	3,351	1	29,314,242	0	1,106,835	0	30,421,077
固定資産合計	231,453,419	29,414,391	68,098,880	0	70,038,200	35,003,351	1	434,008,242	0	932,766,035	0	1,366,774,277
資産合計	379,381,045	198,368,192	143,371,705	56,590,535	83,947,403	39,735,386	510,012	901,904,278	1,255,910	936,028,603	△ 158,571,879	1,680,616,912
II 負債の部												
1. 流動負債												
買掛金	0	62,628,875	27,263,649	0	4,833,138	0	0	94,725,662	249,139	0	0	94,974,801
未払金	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0	0	100,000
未払費用	82,035,868	13,889,224	6,633,622	324,116	6,262,606	717,852	3,946,599	113,809,887	53,321	980,979	0	114,844,187
未払消費税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,267,300	0	6,267,300
前受金	0	0	11,350	0	0	0	0	11,350	0	0	0	11,350
預り金	1,279,016	885,318	972,204	113,925	487,160	257,773	218,062	4,213,458	0	693,164	0	4,906,622
仮受金	0	1,367,822	206,156	6,078,149	116,750	0	0	7,768,877	0	0	0	7,768,877
未払法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000	0	242,000
賞与引当金	4,284,669	0	0	0	10,381,420	643,819	883,365	16,193,273	0	2,239,960	0	18,433,233
他会計借入金	12,574,442	0	0	0	97,991,429	38,550,407	2,181,243	151,297,521	7,274,358	0	△ 158,571,879	0
流動負債合計	100,173,995	78,771,239	35,186,981	6,516,190	120,072,503	40,169,851	7,229,269	388,120,028	7,576,818	10,423,403	△ 158,571,879	247,548,370
2. 固定負債												
退職給付引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,005,200	0	8,005,200
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,005,200	0	8,005,200
負債合計	100,173,995	78,771,239	35,186,981	6,516,190	120,072,503	40,169,851	7,229,269	388,120,028	7,576,818	18,428,603	△ 158,571,879	255,553,570

科 目		公益目的事業会計							収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	
		観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計				天鏡閣売店
			観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館					
Ⅲ 正味財産の部													
1. 指定正味財産													
寄付金		0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000	
指定正味財産合計		0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000	
(うち基本財産への充当額)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(917,600,000)	(0)	(917,600,000)	
(うち特定資産への充当額)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産		279,207,050	119,596,953	108,184,724	50,074,345	△ 36,125,100	△ 434,465	△ 6,719,257	513,784,250	△ 6,320,908	0	507,463,342	
(うち基本財産への充当額)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)		(228,594,000)	(12,100,000)	(59,000,000)	(0)	(70,000,000)	(35,000,000)	(0)	(404,694,000)	(0)	(6,054,000)	(410,748,000)	
正味財産合計		279,207,050	119,596,953	108,184,724	50,074,345	△ 36,125,100	△ 434,465	△ 6,719,257	513,784,250	△ 6,320,908	917,600,000	0	1,425,063,342
負債及び正味財産合計		379,381,045	198,368,192	143,371,705	56,590,535	83,947,403	39,735,386	510,012	901,904,278	1,255,910	936,028,603	△ 158,571,879	1,680,616,912

正味財産増減計算書（総合）
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科目	当 期	前 期	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,016,936	8,022,012	△ 2,005,076
基本財産運用益計	6,016,936	8,022,012	△ 2,005,076
特定資産運用益			
特定資産受取利息	2,006	1,907	99
特定資産運用益計	2,006	1,907	99
受取会費			
正会員受取会費	4,219,000	4,219,000	0
受取会費計	4,219,000	4,219,000	0
事業収益			
受取受託料収入	2,704,869,870	4,894,666,815	△ 2,189,796,945
受取物産品売上高	1,390,164,658	1,206,329,405	183,835,253
受取手数料収入	13,710,794	9,672,250	4,038,544
負担金収入	918,181	947,957	△ 29,776
使用料収入	23,255,046	16,387,994	6,867,052
食事料収入	7,766,727	5,516,727	2,250,000
旅行売上高	45,049,973	26,655,606	18,394,367
受取雑収入	4,664,435	3,216,791	1,447,644
値引・戻り高	17,516,126	18,760,672	△ 1,244,546
事業収益計	4,172,883,558	6,144,632,873	△ 1,971,749,315
受取補助金等			
受取補助金	63,194,817	1,942,904,246	△ 1,879,709,429
受取補助金等計	63,194,817	1,942,904,246	△ 1,879,709,429
雑収益			
受取利息	1,542	1,435	107
賞与引当金戻入	17,368,937	0	17,368,937
役員賞与引当金戻入	825,715	0	825,715
その他雑収益	618,179	5,274,536	△ 4,656,357
雑収益計	18,814,373	5,275,971	13,538,402
経常収益計	4,265,130,690	8,105,056,009	△ 3,839,925,319
(2) 経常費用			
事業費			
期首棚卸高	28,696,693	22,540,772	6,155,921
物産品仕入高	1,092,811,817	944,027,730	148,784,087
物産品廃棄損等	3,879,386	4,561,934	△ 682,548
食事材料仕入高	1,836,770	1,332,450	504,320
旅行仕入高	46,597,347	25,585,464	21,011,883
期末棚卸高	27,601,090	28,696,693	△ 1,095,603
給料手当	238,669,447	230,544,872	8,124,575
諸謝金	2,663,710	6,221,126	△ 3,557,416
賃金	84,027,545	78,686,605	5,340,940
退職給付費用	100,000	100,000	0
福利厚生費	52,640,143	51,171,519	1,468,624
退職金共済掛金	2,952,311	2,761,098	191,213
賞与引当金繰入	16,193,273	15,364,224	829,049
旅費交通費	13,036,898	6,311,784	6,725,114
通信運搬費	3,843,748	4,741,076	△ 897,328
減価償却費	6,324,597	1,732,384	4,592,213
消耗品費	16,120,852	12,893,028	3,227,824
修繕費	2,937,021	3,657,360	△ 720,339
印刷製本費	14,587,441	17,447,219	△ 2,859,778

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
燃料費	3, 113, 261	2, 133, 684	979, 577
光熱水料費	21, 461, 503	16, 914, 053	4, 547, 450
賃借料	87, 887, 433	86, 690, 768	1, 196, 665
支払手数料	27, 395, 083	21, 787, 024	5, 608, 059
広告宣伝費	28, 319, 155	28, 186, 907	132, 248
租税公課	919, 963	2, 076, 271	△ 1, 156, 308
支払負担金	7, 710, 543	5, 945, 944	1, 764, 599
支払助成金	2, 099, 502, 692	5, 664, 407, 088	△ 3, 564, 904, 396
支払寄付金	30, 000	50, 000	△ 20, 000
委託費	285, 230, 558	659, 579, 879	△ 374, 349, 321
保険料	1, 765, 075	1, 607, 380	157, 695
受託設備費	0	5, 554, 000	△ 5, 554, 000
包装資材費	6, 599, 985	9, 727, 770	△ 3, 127, 785
交際費	182, 289	81, 206	101, 083
会議費	55, 936	148, 759	△ 92, 823
食糧費	80, 358	27, 376	52, 982
運賃	4, 130, 784	6, 725, 923	△ 2, 595, 139
従業員食事材料費	128, 864	125, 682	3, 182
研修費	1, 544, 905	698, 058	846, 847
雑損失	36, 185	9, 683	26, 502
貸倒引当金繰入	525, 311	340, 456	184, 855
雑費	438, 038	428, 775	9, 263
事業費計	4, 177, 375, 830	7, 914, 230, 638	△ 3, 736, 854, 808
管理費			
役員報酬	12, 160, 007	12, 341, 000	△ 180, 993
給料手当	2, 951, 897	3, 269, 936	△ 318, 039
退職給付費用	2, 066, 972	0	2, 066, 972
福利厚生費	1, 071, 385	1, 114, 059	△ 42, 674
退職金共済掛金	90, 479	148, 382	△ 57, 903
賞与引当金繰入	1, 489, 015	2, 004, 713	△ 515, 698
役員賞与引当金繰入	750, 945	825, 715	△ 74, 770
会議費	8, 302	0	8, 302
交際費	0	20, 000	△ 20, 000
旅費交通費	150, 989	111, 542	39, 447
通信運搬費	95, 805	106, 796	△ 10, 991
減価償却費	62, 555	32, 784	29, 771
消耗品費	82, 347	62, 154	20, 193
修繕費	0	8, 376	△ 8, 376
印刷製本費	23, 575	5, 429	18, 146
燃料費	12, 032	12, 927	△ 895
光熱水料費	38, 375	26, 691	11, 684
賃借料	236, 895	298, 329	△ 61, 434
広告宣伝費	2, 765	2, 793	△ 28
租税公課	122, 473	111, 963	10, 510
支払負担金	1, 005	1, 016	△ 11
支払寄付金	10, 000	10, 000	0
支払手数料	15, 613	18, 094	△ 2, 481
運賃	10, 676	5, 713	4, 963
研修費	0	8, 200	△ 8, 200
委託費	24, 432	21, 097	3, 335
貸倒引当金繰入	260	0	260
雑費	0	25, 575	△ 25, 575
管理費計	21, 478, 799	20, 593, 284	885, 515
経常費用計	4, 198, 854, 629	7, 934, 823, 922	△ 3, 735, 969, 293
評価損益等調整前当期経常増減額	66, 276, 061	170, 232, 087	△ 103, 956, 026
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	66, 276, 061	170, 232, 087	△ 103, 956, 026

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入	11,470	406,713	△ 395,243
過年度損益修正益	890,500	600,000	290,500
経常外収益計	901,970	1,006,713	△ 104,743
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	12,193	0	12,193
過年度損益修正損	0	2,264,049	△ 2,264,049
経常外費用計	12,193	2,264,049	△ 2,251,856
当期経常外増減額	889,777	△ 1,257,336	2,147,113
税引前当期一般正味財産増減額	67,165,838	168,974,751	△ 101,808,913
法人税、住民税及び事業税	242,000	242,000	0
当期一般正味財産増減額	66,923,838	168,732,751	△ 101,808,913
一般正味財産期首残高	440,539,504	271,806,753	168,732,751
一般正味財産期末残高	507,463,342	440,539,504	66,923,838
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,016,936	8,022,012	△ 2,005,076
基本財産運用益計	6,016,936	8,022,012	△ 2,005,076
特定資産運用益			
特定資産受取利息	41	206	△ 165
特定資産運用益計	41	206	△ 165
一般正味財産への振替額	8,083,949	5,758,169	2,325,780
当期指定正味財産増減額	△ 2,066,972	2,264,049	△ 4,331,021
指定正味財産期首残高	919,666,972	917,402,923	2,264,049
指定正味財産期末残高	917,600,000	919,666,972	△ 2,066,972
III 正味財産期末残高	1,425,063,342	1,360,206,476	64,856,866

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目		公益目的事業会計							収益事業会計	法人会計	合計	
		観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計			天鏡閣売店
			観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館				
I	一般正味財産増減の部											
	1. 経常増減の部											
	(1) 経常収益											
	基本財産運用益											
	基本財産受取利息	1,504,234	0	0	0	1,504,234	0	0	3,008,468	0	3,008,468	6,016,936
	基本財産運用益計	1,504,234	0	0	0	1,504,234	0	0	3,008,468	0	3,008,468	6,016,936
	特定資産運用益											
	特定資産受取利息	0	256	1,286	0	0	0	0	1,542	0	464	2,006
	特定資産運用益計	0	256	1,286	0	0	0	0	1,542	0	464	2,006
	受取会費											
	正会員受取会費	0	0	0	2,109,500	0	0	0	2,109,500	0	2,109,500	4,219,000
	受取会費計	0	0	0	2,109,500	0	0	0	2,109,500	0	2,109,500	4,219,000
	事業収益											
	受取受託料収入	2,545,239,141	26,532,593	92,910,544	0	21,594,145	0	18,593,447	2,704,869,870	0	0	2,704,869,870
	受取物産品売上高	0	884,155,247	385,996,147	0	110,236,503	6,295,395	0	1,386,683,292	3,481,366	0	1,390,164,658
	受取手数料収入	1,890,245	77,048	57,727	11,685,774	0	0	0	13,710,794	0	0	13,710,794
	負担金収入	0	0	0	918,181	0	0	0	918,181	0	0	918,181
	使用料収入	0	0	0	0	0	16,940,863	6,314,183	23,255,046	0	0	23,255,046
	食事料収入	0	0	0	0	0	7,766,727	0	7,766,727	0	0	7,766,727
	旅行売上高	45,049,973	0	0	0	0	0	0	45,049,973	0	0	45,049,973
	受取雑収入	12,811	3,723,389	262,420	0	184,017	10,350	0	4,192,987	471,448	0	4,664,435
	値引・戻り高	0	13,392,054	4,124,072	0	0	0	0	17,516,126	0	0	17,516,126
	事業収益計	2,592,192,170	901,096,223	475,102,766	12,603,955	132,014,665	31,013,335	24,907,630	4,168,930,744	3,952,814	0	4,172,883,558
	受取補助金等											
	受取補助金	31,613,449	100,187	73,755	24,933	11,643,378	33,342	3,458,192	46,947,236	0	16,247,581	63,194,817
	受取補助金等計	31,613,449	100,187	73,755	24,933	11,643,378	33,342	3,458,192	46,947,236	0	16,247,581	63,194,817
	雑収益											
	受取利息	85	619	634	14	29	83	16	1,480	15	47	1,542
	賞与引当金戻入	3,984,099	0	0	0	9,984,762	509,982	885,381	15,364,224	0	2,004,713	17,368,937
	役員賞与引当金戻入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	825,715	825,715
	その他雑収益	78,130	193,185	74,000	0	0	264,864	0	610,179	0	8,000	618,179
	雑収益計	4,062,314	193,804	74,634	14	9,984,791	774,929	885,397	15,975,883	15	2,838,475	18,814,373
	経常収益計	2,629,372,167	901,390,470	475,252,441	14,738,402	155,147,068	31,821,606	29,251,219	4,236,973,373	3,952,829	24,204,488	4,265,130,690
	(2) 経常費用											
	事業費											
	期首棚卸高	0	15,463,540	10,727,644	0	200,574	1,393,985	0	27,785,743	910,950	0	28,696,693
	物産品仕入高	0	690,845,204	297,798,900	0	99,824,531	2,116,853	0	1,090,585,488	2,226,329	0	1,092,811,817
	物産品廃棄損等	0	2,046,856	1,778,879	0	29,700	6,712	0	3,862,147	17,239	0	3,879,386
	食事材料仕入高	0	0	0	0	0	1,836,770	0	1,836,770	0	0	1,836,770
	旅行仕入高	46,597,347	0	0	0	0	0	0	46,597,347	0	0	46,597,347
	期末棚卸高	0	15,644,632	10,482,807	0	286,711	229,703	0	26,643,853	957,237	0	27,601,090
	給料手当	85,447,338	43,589,149	49,359,477	6,855,417	28,590,382	12,430,778	12,396,906	238,669,447	0	0	238,669,447
	諸謝金	1,507,662	0	367,141	24,000	464,400	0	300,507	2,663,710	0	0	2,663,710
	賃金	0	42,296,677	33,607,589	2,921,475	0	2,304,020	2,229,657	83,359,418	668,127	0	84,027,545
	退職給付費用	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0	100,000
	福利厚生費	13,872,759	13,764,178	13,971,270	1,730,025	4,821,843	1,927,998	2,446,827	52,534,900	105,243	0	52,640,143
	退職金共済掛金	678,846	805,484	53,093	180,623	861,425	177,841	194,999	2,952,311	0	0	2,952,311
	賞与引当金繰入	4,284,669	0	0	0	10,381,420	643,819	883,365	16,193,273	0	0	16,193,273
	旅費交通費	7,808,107	789,169	1,512,620	1,380,133	1,406,141	62,637	78,091	13,036,898	0	0	13,036,898
	通信運搬費	856,746	1,078,186	618,171	117,364	349,135	494,576	329,570	3,843,748	0	0	3,843,748
	減価償却費	75,663	4,418,335	1,742,772	9,651	52,250	12,909	13,017	6,324,597	0	0	6,324,597
	消耗品費	3,471,754	4,760,660	4,077,320	169,485	2,494,088	510,863	552,455	16,036,625	84,227	0	16,120,852
	修繕費	244,104	553,691	910,340	3,000	5,000	705,588	515,298	2,937,021	0	0	2,937,021
	印刷製本費	12,016,651	1,062,652	600,827	3,637	161,128	95,385	647,161	14,587,441	0	0	14,587,441
	燃料費	836,457	307,747	45	17,478	75,555	1,567,011	285,673	3,089,966	23,295	0	3,113,261
	光熱水料費	670,540	11,090,556	7,313,818	20,163	143,589	7,920	2,214,917	21,461,503	0	0	21,461,503
	賃借料	10,216,810	13,270,034	62,648,121	125,010	1,091,627	134,872	400,959	87,887,433	0	0	87,887,433
	支払手数料	4,938,829	10,435,224	9,440,481	39,054	2,179,579	86,022	126,933	27,246,122	148,961	0	27,395,083
	広告宣伝費	4,146,066	21,228,188	2,346,741	180,996	202,734	86,246	128,184	28,319,155	0	0	28,319,155
	租税公課	646,289	116,732	72,000	279	34,963	17,300	32,400	919,963	0	0	919,963
	支払負担金	4,999,143	61,686	326,757	389,069	1,383,525	490,207	60,156	7,710,543	0	0	7,710,543
	支払助成金	2,098,431,718	0	1,040,358	30,616	0	0	0	2,099,502,692	0	0	2,099,502,692
	支払寄付金	0	30,000	0	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000
	委託費	257,590,847	6,615,659	5,015,013	60,788	7,098,058	775,643	8,074,550	285,230,558	0	0	285,230,558
	保険料	1,125,085	343,430	113,970	0	1,000	88,590	88,000	1,760,075	5,000	0	1,765,075
	包装資材費	0	3,036,878	3,376,238	0	140,869	0	0	6,553,985	46,000	0	6,599,985
	交際費	92,222	19,118	40,745	3,407	10,000	15,991	806	182,289	0	0	182,289
	会議費	55,118	0	0	818	0	0	0	55,936	0	0	55,936
	食糧費	44,700	0	0	18,982	0	0	16,676	80,358	0	0	80,358
	運賃	1,445,193	122,164	1,044,289	523,782	987,696	900	3,820	4,127,844	2,940	0	4,130,784
	従業員食事材料費	0	0	0	0	0	128,864	0	128,864	0	0	128,864
	研修費	214,137	456,254	874,514	0	0	0	0	1,544,905	0	0	1,544,905
	雑損失	0	11,848	14,273	10,064	0	0	0	36,185	0	0	36,185
	貸倒引当金繰入	381,232	72,513	7,355	3,323	58,474	2,121	104	525,122	189	0	525,311
	雑費	154,184	73,332	75,522	12,886	122,114	0	0	438,038	0	0	438,038
	事業費計	2,562,850,216	873,120,512	500,493,476	14,831,525	162,885,089	27,892,718	32,021,031	4,174,094,567	3,281,263	0	4,177,375,830

科目		公益目的事業会計								収益事業会計	法人会計	合計
		観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計		小計	天鏡閣売店		
			観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣・迎賓館				
管理費												
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,160,007	12,160,007
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,951,897	2,951,897
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,066,972	2,066,972
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,071,385	1,071,385
退職金共済掛金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90,479	90,479
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,489,015	1,489,015
役員賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	750,945	750,945
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,302	8,302
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,989	150,989
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95,805	95,805
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,555	62,555
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82,347	82,347
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,575	23,575
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,032	12,032
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38,375	38,375
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	236,895	236,895
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,765	2,765
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122,473	122,473
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,005	1,005
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,613	15,613
運賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,676	10,676
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,432	24,432
貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	260	260
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,478,799	21,478,799
経常費用計	2,562,850,216	873,120,512	500,493,476	14,831,525	162,885,089	27,892,718	32,021,031	4,174,094,567	3,281,263	21,478,799	4,198,854,629	
評価損益等調整前当期経常増減額	66,521,951	28,269,958	△ 25,241,035	△ 93,123	△ 7,738,021	3,928,888	△ 2,769,812	62,878,806	671,566	2,725,689	66,276,061	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	66,521,951	28,269,958	△ 25,241,035	△ 93,123	△ 7,738,021	3,928,888	△ 2,769,812	62,878,806	671,566	2,725,689	66,276,061	
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
貸倒引当金戻入	0	0	0	0	11,470	0	0	11,470	0	0	0	11,470
過年度損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	890,500	890,500	
経常外収益計	0	0	0	0	11,470	0	0	11,470	0	890,500	901,970	
(2) 経常外費用												
固定資産除却損	0	0	0	0	0	12,193	0	12,193	0	0	0	12,193
経常外費用計	0	0	0	0	0	12,193	0	12,193	0	0	0	12,193
当期経常外増減額	0	0	0	0	11,470	△ 12,193	0	△ 723	0	890,500	889,777	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	66,521,951	28,269,958	△ 25,241,035	△ 93,123	△ 7,726,551	3,916,695	△ 2,769,812	62,878,083	671,566	3,616,189	67,165,838	
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	327,349	327,349	23,427,623	△ 23,754,972	0	
税引前当期一般正味財産増減額	66,521,951	28,269,958	△ 25,241,035	△ 93,123	△ 7,726,551	3,916,695	△ 2,442,463	63,205,432	24,099,189	△ 20,138,783	67,165,838	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000	242,000	
当期一般正味財産増減額	66,521,951	28,269,958	△ 25,241,035	△ 93,123	△ 7,726,551	3,916,695	△ 2,442,463	63,205,432	24,099,189	△ 20,380,783	66,923,838	
一般正味財産期首残高	212,685,099	91,326,995	133,425,759	50,167,468	△ 28,398,549	△ 4,351,160	△ 4,276,794	450,578,818	△ 30,420,097	20,380,783	440,539,504	
一般正味財産期末残高	279,207,050	119,596,953	108,184,724	50,074,345	△ 36,125,100	△ 434,465	△ 6,719,257	513,784,250	△ 6,320,908	0	507,463,342	
II 指定正味財産増減の部												
基本財産運用益												
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,016,936	6,016,936	
基本財産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,016,936	6,016,936	
特定資産運用益												
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	41	
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	41	
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,083,949	8,083,949	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 2,066,972	△ 2,066,972	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	919,666,972	919,666,972	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	917,600,000	
III 正味財産期末残高	279,207,050	119,596,953	108,184,724	50,074,345	△ 36,125,100	△ 434,465	△ 6,719,257	513,784,250	△ 6,320,908	917,600,000	1,425,063,342	

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

当該事業年度末日において、継続組織の前提に関する疑義は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法または旧定率法によっている。

ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法によっている。

②無形固定資産

定額法（残価0円）によっている。

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上している。

②賞与引当金

役員及び職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

③退職給与引当金

平成18年4月1日より職員就業規則を改定し、独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入している。改定前の規則に基づく退職金については、自己都合による要支給額を引当金計上している。

(5) リース資産

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）				
科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	814,989,511	99,856,605	0	914,846,116
定期預金	100,000,000	0	100,000,000	0
普通預金	2,610,489	489,000	345,605	2,753,884
小計	917,600,000	100,345,605	100,345,605	917,600,000
特定資産				
退職給付引当資産	22,886,194	0	14,880,994	8,005,200
運営強化積立預金	6,054,000	0	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	74,000,000	0	18,000,000	56,000,000
人材育成積立資金	25,000,000	0	1,500,000	23,500,000
公益目的事業財政安定化積立資金	21,000,000	150,000,000	9,000,000	162,000,000
県産品振興事業財政安定化積立資金	50,000,000	30,000,000	10,000,000	70,000,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	35,000,000	0	0	35,000,000
風評払拭活動資金	0	40,000,000	0	40,000,000
販売管理システム関連費用積立資金	0	8,100,000	0	8,100,000
倉庫賃借費用積立資金	0	3,094,000	0	3,094,000
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	0	3,000,000	0	3,000,000
天鏡閣ホームページ改修資金	3,000,000	0	3,000,000	0
観光物産館・日本橋ふくしま館販売管理システム入替資金	40,000,000	0	40,000,000	0
物産館公用車購入資金	4,000,000	0	0	4,000,000
小計	280,940,194	234,194,000	96,380,994	418,753,200
合計	1,198,540,194	334,539,605	196,726,599	1,336,353,200

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)				
科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	914,846,116	(914,846,116)	(0)	(0)
普通預金	2,753,884	(2,753,884)	(0)	(0)
小計	917,600,000	(917,600,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	8,005,200	(0)	(0)	(8,005,200)
運営強化積立預金	6,054,000	(0)	(6,054,000)	(0)
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	56,000,000	(0)	(56,000,000)	(0)
人材育成積立資金	23,500,000	(0)	(23,500,000)	(0)
公益目的事業財政安定化積立資金	162,000,000	(0)	(162,000,000)	(0)
県産品振興事業財政安定化積立資金	70,000,000	(0)	(70,000,000)	(0)
施設管理運営事業財政安定化積立資金	35,000,000	(0)	(35,000,000)	(0)
風評払拭活動資金	40,000,000	(0)	(40,000,000)	(0)
販売管理システム関連費用積立資金	8,100,000	(0)	(8,100,000)	(0)
倉庫賃借費用積立資金	3,094,000	(0)	(3,094,000)	(0)
日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
物産館公用車購入資金	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
小計	418,753,200	(0)	(410,748,000)	(8,005,200)
合計	1,336,353,200	(917,600,000)	(410,748,000)	(8,005,200)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。
(単位：円)

勘定科目名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	530,000	530,000	0
車両運搬具	3,090,215	3,090,212	3
什器備品	40,599,752	23,179,440	17,420,312
ソフトウェア	13,755,104	5,600,604	8,154,500
合計	57,975,071	32,400,256	25,574,815

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)			
種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第120回利付国債	205,664,103	227,965,560	22,301,457
第157回利付国債	99,743,707	94,070,000	△ 5,673,707
第178回利付国債	9,966,472	9,184,000	△ 782,472
令和3年度第1回福島県公募公債	200,000,000	193,500,000	△ 6,500,000
令和3年度第4回福岡県公募公債	100,000,000	96,870,000	△ 3,130,000
第80回東日本高速道路株式会社債	99,560,936	98,830,000	△ 730,936
第172回日本高速道路保有・債務返済機構債券	99,910,898	92,760,000	△ 7,150,898
第277回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	90,080,000	△ 9,920,000
合計	914,846,116	903,259,560	△ 11,586,556

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)						
補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和4年度(公財)事業等補助金	福島県	0	47,830,000	47,830,000	0	一般正味財産
ふくしまDMO推進プロジェクト事業補助金	福島県	0	13,297,845	13,297,845	0	一般正味財産
福島県観光物産振興事業等補助金(退職金)	福島県	2,066,972	0	2,066,972	0	指定正味財産
合計		2,066,972	61,127,845	63,194,817	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)	
内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	6,016,936
特定資産受取利息	41
福島県補助金(退職金)	2,066,972
合計	8,083,949

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため省略。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	1,142,004	525,571	0	11,470	1,656,105
賞与引当金	18,194,652	18,433,233	18,194,652	0	18,433,233
退職給付引当金	20,819,222	0	12,814,022	0	8,005,200

※ 貸倒引当金の当期減少額「その他」は、期末洗替えによる戻入額である。

財産目録
令和 5年 3月31日現在

(単位:円)				
貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	9,473,082
	普通預金	東邦銀行 県庁支店 他	〃	106,895,629
	売掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品売上代 他	17,616,536
	信販未収金	観光物産館 他	県産品売上代のクレジット等利用分	25,414,985
	未収金	福島県 他	県委託事業に係る受託料未収分 他	122,579,338
	商品	観光物産館 他	棚卸資産	27,381,891
	食事材料	くろがね小屋	〃	219,199
	前払費用	日本橋ふくしま館 他	4月分家賃 他	5,918,080
	貸倒引当金	－	貸倒に備えた引当金	△ 1,656,105
流動資産合計				313,842,635
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	みずほ証券 他	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	914,846,116
	普通預金	東邦銀行 西福島支店	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	2,753,884
特定資産				917,600,000
	退職給付引当預金	東邦銀行 西福島支店 他	職員の退職給付支出に備えた積立	8,005,200
	運営強化積立預金	東邦銀行 西福島支店	運用益を法人会計の財源として使用	6,054,000
	日本橋ふくしま館財政調整積立資金	東邦銀行 県庁支店 他	日本橋ふくしま館の管理運営のための積立	56,000,000
	人材育成積立資金	東邦銀行 県庁支店	人材育成のための積立	23,500,000
	公益目的事業財政安定化積立資金	東邦銀行 県庁支店 他	公益目的事業のための積立	162,000,000
	県産品振興事業財政安定化積立資金	東邦銀行 県庁支店	県産品振興事業のための積立	70,000,000
	施設管理運営事業財政安定化積立資金	東邦銀行 県庁支店 他	くろがね小屋・天鏡閣の管理運営のための積立	35,000,000
	風評払拭活動資金	東邦銀行 県庁支店	風評払拭の活動のための積立	40,000,000
	販売管理システム関連費用積立資金	東邦銀行 県庁支店	販売管理システム関連費用のための積立	8,100,000
	倉庫賃借費用積立資金	東邦銀行 県庁支店	倉庫賃借のための積立	3,094,000
	日本橋ふくしま館10周年事業積立資金	東邦銀行 県庁支店	日本橋ふくしま館の10周年事業のための積立	3,000,000
	物産館公用車購入資金	東邦銀行 県庁支店	公用車購入のための積立	4,000,000
				418,753,200
	その他固定資産	車両運搬具	公用車 他	事業に要する車両等
什器備品		POSターミナル 他	事業に要する備品等	17,420,312
ソフトウェア		売掛管理システム 他	事業に要するシステム等	8,154,500
電話加入権		協会事務所	電話加入権利	298,552
敷金		都圏不動産(株) 他	倉庫敷金等	2,284,000
保証金		全国旅行業協会	旅行事業に係る弁済業務保証金分担金	2,200,000
出資金		福島県旅行業協同組合	旅行事業に係る組合出資金	50,000
預託金		自動車リサイクル促進センター	自動車リサイクル預託金	13,710
				30,421,077
固定資産合計				1,366,774,277
資産合計				1,680,616,912
(流動負債)	買掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品仕入代等	94,974,801
	未払金	日本橋ふくしま館	職員退職金	100,000
	未払費用	(株) J T B 他	公益事業等に係る支払経費等	114,844,187
	未払消費税等	－	決算において確定した未払消費税	6,267,300
	前受金	職員	公舎家賃	11,350
	預り金	源泉所得税 他	源泉所得税等の預り金	4,906,622
	仮受金	物産展等出展業者 他	物産展等出展業者未精算売上金 他	7,768,877
	未払法人税等	－	決算において確定した未払法人税	242,000
	賞与引当金	－	役職員の賞与に係る引当金	18,433,233
流動負債合計				247,548,370
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員の退職金に係る引当金	8,005,200
固定負債合計				8,005,200
負債合計				255,553,570
正味財産				1,425,063,342